



久留島武彦記念館の金成妍館長から電話があった。久々なので何事か、と思ったが「赤毛のアン」の原作者モンゴメリの生地カナダの州知事が来館されるので歓迎の意を込めて「赤毛のアン」特別展をしたい。ついては私の母が翻訳者村岡花子より少し前、その「赤毛のアン」翻訳出版を試みて久留島先生にお力添えをお願いしたことが10年ほど前に新聞記事になった。それを金館長が覚えていて資料借り受けの依頼だった。お断りする理由もなく一方で金館長がよく覚えていたな、と大いに感心させられた。

久留島武彦先生 とのお縁



草野 義輔

なり懇意にしていたようで、昭和女子高時代の校歌の作詞者は久留島先生の紹介であり、実弟の名付け親でもあった。私の両親は玖珠郡野上に十数年住んだ時期があり野上にボーイスカウトを創設し私も子どもを入隊させた。私は中学生の頃ボーイスカウトの集まりで久留島先生の口演をじかに聴いた経験があり、お葬式にも隊の一員として参列した記憶がある。

記念館の地には巨大な童話碑が建てられているが建設委員長は祖父が務めた。金館長は韓国人だが異国の地で懸命に記念館の発展に努力され見事な成果を挙げている。このたびわが家に多く残る久留島先生の資料を記念館に寄託させてもらった。調査が進めばいずれ寄贈しようと考えている。(昭和学園高校理事長・日田市)

久留島先生と私の祖父や両親とはか